

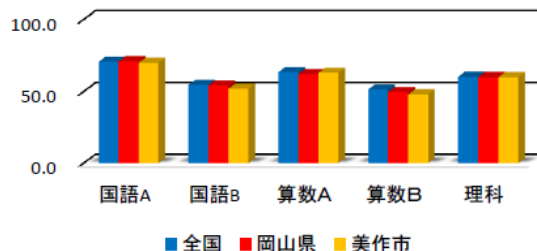
平成30年度 全国学力・学習状況調査 小学校版 【美作市 結果・概要】

美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率(小6)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
岡山県	71	54	62	50	60
美作市	70	52	63	48	60

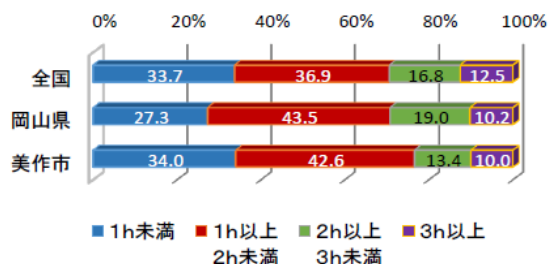
・国語A、算数A、理科については、全国、県並の数値である。
 ・国語B、算数Bについては、全国、県の数値と比較すると約2～3ポイント下回っている。学んだことを関連づけて考えたり、言葉や図、式等を使って書いたり説明したりする機会を意図的に設けていく必要がある。



○平日の家庭学習時間(小6)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	33.7	36.9	16.8	12.5
岡山県	27.3	43.5	19.0	10.2
美作市	34.0	42.6	13.4	10.0

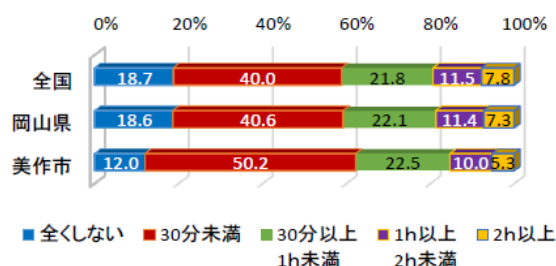
・家庭学習時間は、昨年度と比較すると、1時間未満の割合が11ポイント減少し、1時間以上の割合の増加につながっている。
 ・2時間以上の割合も昨年より4ポイント増加しているものの、全国、県の数値と比較するとまだ少ない。



○平日の読書の時間(小6)

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	18.7	40.0	21.8	11.5	7.8
岡山県	18.6	40.6	22.1	11.4	7.3
美作市	12.0	50.2	22.5	10.0	5.3

・読書の時間については、全くしないという児童の割合は全国、県と比較すると少なく、30分未満の割合が多い。
 ・また、1時間以上の割合が全国、県の数値と比較すると少ない。



※全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題

- ・落ち着いた学習環境づくり、基礎基本の徹底を各校で継続して取り組み、国語A・算数Aについては、全国、県並の数値である。
- ・国語B、算数Bについては、問題を正確に素早く読み取ったり、根拠を示して自分の考えを書いたりすることが課題である。
- ・理科の平均正答率については、全国、県並の数値であるが、「理科は好きですか」「理科の授業はよく分かりますか」という質問に「あてはまる」という児童が全国、県平均に比べ1.5～3ポイント低い。児童の興味・関心を高め、児童が主体的・協同的に学ぶ授業づくりへの改善が必要である。
- ・家庭学習時間は、昨年度よりも増加傾向である。1時間未満の割合は全国並ではあるが、県と比較すると多い。読書時間も含め、家庭と連携しながら、家庭学習習慣の定着の取組が必要である。

※課題に応じた改善のポイント

- 授業改善等の取組
 - ・「岡山型学習指導スタンダード」を基にした授業づくりと言語活動の充実
 - 読解力を育てる土台作りとして、授業や家庭学習で音読の時間と機会を確保する。
 - 書く活動を授業や補充学習、家庭学習で取り入れる。また、根拠を示しながら書いたり、条件に合わせて説明したりする授業づくりを行う。
 - ・ユニバーサルデザインを意識した目的と活動が明確な授業づくり
 - ・家庭学習につなげる授業づくり(復習、予習、自主学習の充実)と家庭学習の出し方(質と量)の工夫
- 落ち着いた学習環境づくり
 - ・人間関係づくりを大切に学級集団づくり、ユニバーサルデザインを意識した学習環境の整備
- 補充学習の充実(朝の学習、放課後学習、問題データベース活用)
- 生活習慣、学習習慣の確立
 - ・家庭学習のスタンダード、家庭学習の手引きに基づいた取組。(例:自主学習ノートの活用、手本となるノートの紹介等、成長を実感させる評価の工夫)
 - ・中学校区で連携した取組(ノーマディアデー・携帯電話、スマートフォンの使用について家庭への啓発等)

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語A】

- 漢字の読み書きは、正答率が80%を超えています。
- 目的に応じて必要な情報を捉えたり、登場人物の心情について捉えたりすることが、90%できている、安定した力をつけています。
- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えることについて、30%が誤答でした。
- 主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことについて、70%が誤答でした。

【国語B】

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むについては、90%の正答率でした。
- 話し合いの参加者として、質問の意図を考えることについて、40%が誤答でした。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むについては、70%の児童が誤答でした。どのようなことが知りたいのかつかむことができませんでした。

【算数A】

- 示された表現方法を基に、空間にあるものの位置を表現することができるについては、100%の正答率でした。
- 円周率を求める式については、90%が誤答でした。
- 小数の除法について式を立てるについては、80%が誤答でした。

【算数B】

- 集まった角の大きさの和が 360° になっていることについて、60%の正答率でした。
- 棒グラフと帯グラフの特徴をとらえ、数値を読み取ることは、90%が誤答でした。

【理科】

- 物を水に溶かしても、全体の重さは変わらないことについて、60%の正答率でした。
- 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できることは、90%の正答率でした。
- 実験結果から言えることだけに言及した内容について記述することについて、75%の誤答でした。
- 電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、結果を見通すことが60%の誤答でした。

〈学習状況調査〉

- 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある経験は、100%です。
- 1日に読書をする時間が30分以上は約57%で、昨年度と比べ読書をするようになりました。
- 住んでいる地域の行事に参加しているのは80%と、よく参加しています。
- 理科の授業では、観察や実験をよく行っていて、自分の予想をもとに計画を立てたり、結果から何が分かったことを考えたりすることが、よくできています。
- 家庭学習を計画立ててしている児童が70%ですが、家庭学習の時間が1時間以上の児童が50%と少ないです。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童が、まだ少ないです。

※学校としての対応・目標

- ・「土居小タイム」を毎日設け、その中で国語や算数の学習内容の定着に取り組めます。5・6年は、割合や文章題の学習を中心にいきます。4年は、個別学習や文章題の学習を行います。1～3年生は、30分間の読書や、補充学習に取り組めます。
- ・「土居っ子漢字検定」を全校で毎学期末ごとに実施し、学習した漢字の定着を図ります。
- ・日々の指導では、「めあてづくり・自分の考えを書く時間の確保・ペア学習やグループ学習での考えの交流、全体交流での練り上げ、学習のまとめ、ふり返り」の形態で進めます。特に、自分の考えを、相手にわかりやすく伝えるための発表の仕方を定着させます。
- ・水曜日の、「ロングの土居小タイム」を利用して、長文問題に取り組ませ、説明の仕方、まとめ方の指導をします。
- ・「家庭学習の手引き」、「家庭学習がんばりカード」を活用して、家庭学習の時間の確保・充実を図ります。
- ・美作市統一連絡帳を活用し、毎日の学習時間・就寝時刻・朝のあいさつを記録し、お家で見ていただきます。
- ・全校で取り組んでいる、自主学習ノート「ぐんぐんノート」を週末の宿題として充実させ、がんばっているノートは、紹介していきます。自分で工夫して学習する力も伸ばしていくように工夫しています。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、
よろしく願いいたします。